

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・
立教開宗八百年 慶讃記念事業

真宗聖典 〔第二版〕

2024年4月1日
発刊!!

真宗聖典
〔第二版〕

真宗聖典
〔第二版〕

聖教編纂室 編

■大判/A5判・1424頁・ケース付き
価格4,950円(税込)

■小判/B6変形判・1424頁・ケース付き
価格4,400円(税込)

聖教編纂室では、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教

開宗八百年慶讃事業の記念事業として、正確で親しみやすい

聖典となることを方針として編纂された『真宗聖典』（初版）

を、近年の研究成果をも踏まえながら本文を確認し、より

充実した『真宗聖典 第二版』として刊行すべく、編纂を進めて

きました。このたびその編纂を終え、2024年4月1日に

『真宗聖典 第二版』を発刊します。

ぜひ、同朋の会や講義・学習会

等、日々の間法のテキストとして

活用ください。



右：『真宗聖典 第二版』大判

左：『真宗聖典 第二版』小判

※大判・小判ともに判型・厚さは初版と同じです。

見やすく、読みやすくなった『真宗聖典 第二版』の
4つの特徴をご紹介します！！

①見やすく、読みやすい体裁に

字間・行間にゆとりをもたせ、文字を大きくし適宜改行を加えてより見やすく、読みやすい体裁になっています。

ポイント

すべての漢字に振り仮名を付しています！

※一部例外もあります。詳細は「凡例」をご参照ください。

●『教行信証』『総序』（『真宗聖典 第二版』160頁）

大判実寸

誓の強縁、多生にも獲回し。遇たま行信、若し也た此の回、疑網に覆蔽劫を逕歴せん。誠なるかな、希有の正法、聞思して遅慮す。愚禿釈の親鸞、慶ば、日域の師釈

160
爾れば、凡小、修し易き真教、愚鈍、往き易き捷徑なり。大聖の一代の教、是の徳海に如く無し。穢を捨て浄を欣い、行に迷い信に惑い、心昏く識寡なく、悪重く障多きもの、特に如来の発遣を仰ぎ、必ず最勝の直道に帰して、専ら斯の行に奉え、唯、斯の信を崇めよ。

50 嗚、弘誓の強縁、多生にも値い巨く、真実の浄信、億劫にも獲回し。遇たま行信を獲ば、速く宿縁を慶べ。若し也た此の回、疑網に覆蔽せられば、更つて復た曠劫を逕歴せん。誠なるかな、撰取不捨の真言、超世希有の正法、聞思して遅慮すること莫かれ。

爰に愚禿釈の親鸞、慶ばしいかな、西蕃・月支の聖典、東夏・日域の師釈に、遇い難くして今遇うことを得たり、聞き難くして已に聞くことを得たり。真宗の教行証を敬信して、特に如来の恩徳深きことを知りぬ。斯を以て、聞く所を慶び、獲る所を嘆するな

爾者凡小、易修真教、愚鈍、易往捷徑。大聖一代教、無如是之徳海。捨穢欣浄、迷行惑信、心昏識寡、悪重障多、特仰如来發遣、必帰最勝直道、専奉斯行、唯崇斯信。

嗚、弘誓強縁、多生巨値、真実浄信、億劫巨獲、遇獲行信、速慶宿縁。若也此回覆蔽疑網、更復逕歴曠劫。誠哉、撰取不捨真言、超世希有正法、聞思莫遅慮。

爰愚禿釈親鸞、慶哉、西蕃月支聖典、東夏日域師釈、難遇今得遇、難聞已得聞。敬信真宗教行証、特知如来恩徳深。斯以慶所聞、嘆所獲矣。

小判実寸

の強縁、多生にも獲回し。遇たま行信、若し也た此の回、疑網に覆蔽劫を逕歴せん。誠なるかな、希有の正法、聞思して遅慮す。愚禿釈の親鸞、慶ば、日域の師釈

48 化生のひとは智慧すぐれ無上覺をそとりける
49 不思議の仏智を信するを報土の因としたまへり
50 信心の正因うことはかたきがなかになおかたし
51 無始流転の苦をすてて無上涅槃を期すること
52 如来一種の回向の恩徳まことに謝しがたし
53 報土の信者はおおからず
54 化土の行者はかずおとし
55 自力の菩提かなわねば久遠劫より流転せり

56 阿彌陀仏の回向の恩廣大不思議にて
57 往相回向の利益には
58 還相回向の利益は
59 往相回向の大慈より
60 還相回向の大慈より
61 如来の回向なかりせば
62 浄土の菩提はいかがせん
63 彌陀観音大勢至
64 大願のふねに乗じてぞ生死のうみにうかみつ
65 有情をよほうてのせたまう
66 彌陀大悲の誓願を
67 ふかく信ぜんひとはみな
68 ねてもさてもへだてなく
69 南無阿彌陀仏となうべし

②研究成果を踏まえた本文に

科文番号

注番号

278

莫かるべし。畢命を期として、上、一形に在るは、少しき苦しきに似如たれども、前念に命終して、後念に即ち彼の国に生まれて、長時永劫に常に無為の法楽を受く。乃至成仏までに生死を遷す。豈に快に非ずや。知るべし」と。已上。

99 真仏弟子」と言うは、「真」の言は、偽に對し、假に對するなり。「弟子」は、釈迦・諸仏の弟子なり、金剛心の行人なり。斯の信行に由りて必ず大涅槃を超越すべきが故に、「真仏弟子」と曰う。

110 大本「天經」に言わく、「設い我、仏を得たらんに、十方無量不可思議の諸仏世界の衆生の類、我が光明を蒙りて其の身に觸るる者、身心柔軟にして人天に超過せん。若し爾らずは、正覺を取らじ」と。

111 設い我、仏を得んに、十方無量不可思議の諸仏世界の衆生の類、我が名字を聞きて善法忍・諸の深總持を得ずは、正覺を取らじ」と。已上。

112 「無量寿如来会」に言わく、「若し我成仏せんに、周遍十方無量无边不可思議無等界輩、仏の威光を蒙りて照触せらるる者、身心安樂にして人天に超過せん。若し爾らずは取らじ」と。已上。

113 又（天經）「法を聞きて能く忘れず、見て敬い得て大きに慶ばば、則ち我が善き親友な

御自釈

御自釈箇所は、二段組で下段に漢文を表記しています。

➡

弟子一
由新信行一必可超越証大涅槃故、曰真仏

言真仏弟子者、真言、對偽、對假也。
弟子者、釈迦・諸佛之弟子、金剛心行人也。

宗派では、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌の記念事業として『顯淨土眞實教行證文類(坂東本翻刻)』を刊行しました。これをはじめとする様々な研究成果を踏まえて聖教の本文を示しています。例えば、本文の理解の手助けになるよう、漢文による聖教については可能な限り漢字を用いて書き下し、すべてに振り仮名を付しています。



学習する際にご活用ください!

●『教行信証』「信巻」(『真宗聖典 第二版』278頁)

科文とは

経典等の本文を解釈する際に、内容を段落によって分け、各箇所の内容を示したものの。科文番号は、巻末付録収録の「浄土三部経科文・教行信証科文」に示す番号と紐づいています。

注とは

本文の表記にあたって注意すべき点や出典について示したものの。注番号は、巻末付録収録の「解題・校注」に示す番号と紐づいています。

この他にも付録では、「四十八願名」「御文各通呼称」について収載しています。

③左訓を収録

左訓表記

左訓番号

655 一念多念文意

- ① 聞：きくといふ
- ② 撰取：おさめとりたまうとなり
- ③ 正定聚：おうしようすべき(身)とさたまるなり
- ④ 等正覺：まことのほとけになるべき(身)となれるなり

- ⑤ 大涅槃：まことのほとけなり
- ⑥ 証：さぐるなり
- ⑦ 正定の聚：かならずほとけになるべき(身)となれるなり

たまたま、取は、むかえとるともうすなり。おさめとりたまうとき、すなわち、とき・日をもへだてず、**③**正定聚のくらしいにつきさだまるを「往生をう」とはのたまえるなり。

しかれば、必至滅度の誓願を「大經」にときたまわく、「設我得仏 国中人天 不住定聚 必至滅度者 不取正覺」と願じたまへり。また「經」(如来会)にのたまわく、「若我成仏 国中有情 若不決定 成等正覺 証大涅槃者 不取菩提」とちかいたまへり。この願成就を、釈迦如来ときたまわく、「其有衆生 生彼国者 皆悉住於 正定之聚 所以者何 彼仏国中 無諸邪聚 及不定聚」(大經)とのたまへり。これらの文のころは、「たといわれ仏をえたらんに、くにのうちの人天、定聚にも住して、かならず滅度にいたらずは、仏にならじ」とちかいたまえるころなり。またのたまわく、「もしわれ仏にならんに、くにのうちの有情、もし決定して等正覺をなりて、大涅槃を証せずは、仏にならじ」とちかいたまえるなり。かくのごとく法蔵菩薩ちかいたまえるを、釈迦如来、五濁のわれらがためにときたまえる文のころは、「それ衆生あつて、かのくににうまれんとするものは、みなことごとく正定の聚に住す。ゆえはいかんとなれば、かの

親鸞聖人の主著である『教行信証』などの漢文による著作、『三帖和讃』や『一念多念文意』などの仮名書きによる著作には、聖人が左訓を付されています。

第二版では、より親鸞聖人のお心にふれてもらうことを願い、聖人が付された左訓を本文と共に確認できるように示しています。

●『一念多念文意』(『真宗聖典 第二版』655頁)

左訓とは…

語句の左側に言葉や文字の意味、説明を示したもの。左訓がある箇所の本文に番号を示しており、左頁に示す番号と紐づいています。

※親鸞聖人の著作以外の聖教に見られる左訓は注記にすべて示しています。

④年表の充実

近年の研究成果を踏まえて確認を行い、各事績についての典拠や年表中に示す人物の年齢を記すなど、学習の利便性を考えより充実させました。

必要に応じて改元時期についても記載しています

西暦	和暦	宗祖年齢
三三七	安貞元 (嘉禄三十二、10改)	55
三三四	元仁元 (貞応三十一、20改)	52
三三三	貞応二	51
三三三	承久三	49
三三三	承久元	47
三三四	建保二	42
三三三	建保元	41

9 『選択本願念仏集』刊行される。
 11 23 明恵房高弁(40)、『摧邪輪』を著し『選択本願念仏集』を
 2 13 解脱房貞慶歿(59・一一五五)。
 6 22 明恵(41)、『摧邪輪莊嚴記』を著し『選択本願念仏集』を
 親鸞、越後から関東への途次、上野国佐貫で三部経千部説誦を
 て中止し常陸へ行く(恵信尼消息第五通)。
 ② 専修念仏停止の宣旨下る。
 5 6 承久の乱。乱後、幕府、後鳥羽上皇(42)を隠岐、順徳上皇(25)
 を佐渡、土御門上皇(27)を土佐へ配流。
 8 14 聖覚(法然門弟(55))、『唯信鈔』を著す(専修寺藏宗祖真蹟本奥書・西本
 願寺藏宗祖真蹟本奥書)。
 2 道元(24)、入宋。
 5 17 延暦寺衆徒、専修念仏停止(一向専修停止事)を訴える。
 8 5 延暦寺衆徒の訴えにより専修念仏停止される。
 ○覚信尼(親鸞息女)誕生。
 ○親鸞、後にこの年を末法
 6 24 延暦寺衆徒、東山大
 7 5 専修念仏停止。隆
 六八三年と『教行信証』に記す(教行信証)。
 然の墳墓を破却(嘉禄の法難)。
 門弟(80)・幸西(法然門弟(65))・空阿(法然門

年齢を示しています

典拠を表記しています

お知らせ

「真宗聖典検索サイト」更新について

『真宗聖典 第二版』の発刊に合わせ、「真宗聖典検索サイト」を第二版及び初版の聖典の文言や対応する頁数を検索できるようバージョンアップします。様々にご活用ください。



真宗聖典検索サイト

検索

※2024年4月更新予定。

東本願寺出版物における聖典からの引用について

『真宗聖典 第二版』刊行後の東本願寺出版発行物に掲載する聖典の引用は、『真宗聖典 第二版』の表記に準じます。また第二版刊行以前の出版物につきましては、重版時に検討を行った上で対応します。

『真宗聖典 第二版』と
共にお手元に!!

『宗祖親鸞聖人著作集 一』

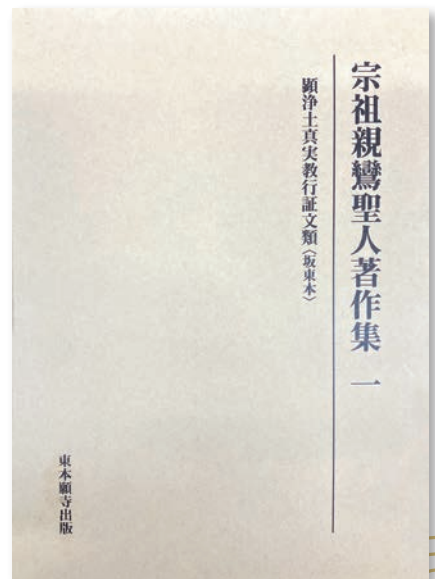
親鸞聖人の主著である『教行信証(坂東本)』の翻刻文と書き下し文を収載。上段の翻刻文と下段の書き下し文を対照しながら、聖人の言葉に忠実に立ち帰って学ぶことができる貴重な一冊。『教行信証』の原文にふれる最適な一書となっています。

ポイント

紙面下部には、
『真宗聖典 第二版』との学習の利便性を考え、
当該箇所^{しゅう そ しん らん しょう にん ちよ さく しゅう}の聖典の頁数を記載しています。

聖教編纂室 編

■A5判・540頁・箱付き ■価格:4,950円(税込)



『真宗聖典 第二版』、『宗祖親鸞聖人著作集 一』のご注文は

東本願寺出版

- 「東本願寺出版ホームページ」からのご注文なら
クレジット決済をご利用いただけます！

東本願寺出版

検索



- お電話・FAX・Mail でご注文の場合は、
①書籍名 ②部数 ③名前 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号
をお知らせください。

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る

TEL:075-371-9189 / FAX:075-371-9211

※平日9時～17時(土日祝を除く)

Mail: books@higashihonganji.or.jp